

□ 要請番号 (JL06616B32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
スリランカ	G153 音楽		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

情報教育局西洋音楽課 (コロンボ)

3) 任地 (コロンボ県ペラワッタ) JICA事務所の所在地 (コロンボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バス で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はスリランカの公的教育を管轄する教育省の一部局で、西洋音楽教育に関する方針策定、教員研修、楽器の配布等を行っている。JICAはこれまでに同配属先を通じて、1999年から2代にわたって全国青年オーケストラに長期隊員2名、2013年3月に小学生に楽器演奏指導をするNGOに短期隊員2名を派遣してきた。現在、同配属先に派遣中の長期隊員が2016年1月から同オーケストラの支援を行っている。コロンボ近郊の中・高等学校における音楽教育指導については、2014年1月から短期隊員(7か月)、2014年7月から長期SVが学校巡回や教員研修を実施。情報教育局の年間予算は約6.3百万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の音楽教育は伝統音楽が主流であり、西洋音楽の普及は遅れている。中・高等学校の選択科目として西洋音楽の授業が実施されており、教員や教材の質の向上が課題となっているが、西洋音楽教育に関する研修、特に実技指導を実施できる人材が不足しているのが現状である。JICAは西洋音楽の普及・実技指導の質の向上のため、これまでに教員養成大学を中心に約20名の音楽ボランティアを派遣してきた。青年オーケストラは2012年に20周年を迎え、2014年にはゴールに地方支部を結成した。現在派遣中の長期隊員は、2016年1月からコロンボで同オーケストラの支援を開始。青年オーケストラ団員への指導を通して、西洋音楽の普及・実技指導の質の向上を支援するため、引き続きボランティアが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 全国青年オーケストラ団員の楽器の演奏技術指導を行う。(土曜午後)
2. 楽器の初心者を対象に個人指導を行う。(平日午後)
3. 楽器の基本的な維持管理技術を指導する。
4. 可能であれば、中・高等学校の選択科目である西洋音楽の授業を補佐しながら、生徒への直接指導(平日午前)や教員研修(不定期)を通して、音楽教員の実技指導技術(ピアノ伴奏、リコーダー・鍵盤ハーモニカ演奏指導、歌唱指導など)の向上を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

オーボエ、ピッコロ、フルート、クラリネット、アルトサキソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニウム、チューバ、バイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ティンパニ、ドラム、シンバル

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚:
西洋音楽課長 40代女性
活動対象者:
全国青年オーケストラ団員(男女約60名、7～35歳)
西洋音楽教員 主に女性
中学生・高校生男女 (10～15歳)

5) 活動使用言語

シンハラ語

6) 生活使用言語

シンハラ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（大卒） 備考：同僚に準ずる
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：
[参考情報]：
・管楽器または弦楽器演奏経験3年以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（22～34℃位） [電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】

弦楽器の指導者が少ないため、できれば弦楽器演奏経験者が望ましい。